



## 里山に育む生きものたち

### 34 カザグルマ (キンポウゲ目 キンポウゲ科)

学名 *Clematis patens* C. Morren et Decne.

写真・文 / 安 昌美

「昨年

シールボルトのコレクションには、1827年にシールボルトが雇った熊吉という人の作ったカザグルマの立派な標本が残されています。図鑑などでは花の色は紫色から淡紫色、紅紫色と記述されていますが、私は町内や周辺の市町村では白色のものしか見ていません。白花のものはシロバナカザグルマと細分されることもあります。大きく目立つ花ですが、花弁はなく、花弁のように目立つものは、「かくへん」とされています。かくへんは通常8枚とされていますが、変異がありますので、見つけたら枚数を数えてください。おしべは多数で、紫色の部分には葯(やく)で白い部分が花糸です。さらに内側にめしべが多数あります。写真は隣の市で、昨年撮影したものです。

▼絶滅危惧種のカザグルマ  
カザグルマは国内では本州・四国・九州に、国外では朝鮮、中国東北部に分布し、園芸品種を作り出す場合の重要な母種となります。野生のままでも十分に美しいことや生育地が里近くのため、園芸目的での採取や道路工事、土地造成などにより、生育地は少なくなりました。環境省のレッドデータブックでは、2007年以前は絶滅危惧Ⅱ類に指定されていましたが、現在は準絶滅危惧のランクになり、少し改善しました。絶滅を心配して多くの人が注意して探した結果だと思っています。茨城県のレッドデータブックでは1997年には危急種とされ、現在の準絶滅危惧Ⅱ類でしたが、2012年版では絶滅危惧Ⅱ類と危険性が高まりました。周辺の都県では東京都は区部で絶滅、埼玉県では絶滅危惧ⅠB類、福島県も絶滅危惧Ⅰ類で、本県より危険性を高くしています。また、群馬県は本県と同じ絶滅危惧Ⅱ類で、千葉県は重要保護生物とし、絶滅危惧Ⅱ類に相当とされています。栃木県では準絶滅危惧Ⅱ類です。茨城県内では県央地区や県北地区に生育が知られています。私は茨城町では2か所を確認していますが、1か所はその後、近くに大きな住宅団地ができました。それでも元気に生育していることを祈っています。町内には他にも生育地があると思われるので、注意して探し、保全を考えたいものです。

### 編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748  
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス [ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp](mailto:ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp)

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成26年12月31日現在)  
◆総人口 33,774人 (-42)、男 16,897人 (-12)、女 16,877人 (-30) ◆世帯数 12,638世帯 (+1)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インキを使用しています